



『消化器病センター

開設5周年！！』

副院長兼外科主任部長 武藤 淳



この8月で、消化器病センターが開設されてちょうど5年になります。もともと当院の消化器科（内科）と外科は、“術前カンファランス”という場で、手術を受ける患者さんの診療情報を共有しながら治療にあたってきました。消化器科の診断結果を外科医とともに検討し、その患者さんにとってベストな治療が何かを相談しながら診療しています。この連携システムを『消化器病センター』という形にまとめ、診断の

ための検査、手術、術後の治療まで、途切れなく進めようというものです。内科医、外科医、病理医で行われていたカンファランスに、栄養士、内科・外科の病棟看護師、手術室の看護師などが参加するようになり、術前・術中・術後と途切れることの無い診療が可能となってきました。手術後の合併症や、手術が困難な病状への対応も適切に選択されるため、診療時間の短縮や、重複検査の減少など、患者さんの負担軽減にもつながっています。消化器病センターへの紹介患者さんは、内科的に対応できるものは消化器科で、手術が必要な場合は診療情報を共有しながら外科へと移ります。緊急手術が必要な患者さんへの対応も迅速に行われ、効率良く診療が進んでいます。



～ 目 次 ～

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ■ 消化器病センター開設5周年 … P 1 | ■ 禁煙について … P 2 |
| ■ 看護部紹介 … P 3 | ■ 骨粗鬆症って？ … P 4～5 |
| ■ 放射線相談の実施 … P 5 | ■ 患者サロン紹介 … P 6 |
| ■ 無料健康相談のお知らせ … P 7 | ■ 緩和ケア病棟室料の変更 … P 7 |
| ■ 放射線相談申込書 … P 8 | |

平成24年4月1日より

病院敷地内全面禁煙へ



『禁煙について』

副院長兼呼吸器科主任部長 石原 俊晴

当院は、平成24年4月1日より敷地内全面禁煙になりました。それまでは建物内は全面禁煙にしていたのですが屋外に喫煙所を設けていました。今回はこの屋外の喫煙所も廃止し病院

の敷地内すべてで禁煙を推進しようという試みです。タバコは発癌物質として最も危険性の高い物質のひとつに分類されます。現在癌は死亡原因のトップでその中でも肺癌による死亡が最も多くなっています。この肺癌の原因の60%がタバコだと言われています。またその他の癌もタバコは誘発し、さらに虚血性心疾患や、最近話題になっているメタボリックシンドロームも悪化させることが解っています。成人死亡の最大の原因物質はタバコであると言ってもいいと思います。厚生労働省は、現在の喫煙率19.5%を10年後には12.2%まで減らしたいという数値目標を出しました。敷地内全面禁煙は、受動喫煙を無くして禁煙をさらに推進しようという当院の積極的な姿勢の施策です。

「敷地内全面禁煙」について。
ご理解ご協力のお願い



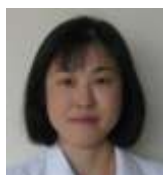
当院は、受動喫煙対策義務を定めた健康増進法を受け、平成24年4月1日から、「病院敷地内全面禁煙」を実施しております。

病院は、診療や治療、ご相談のために訪れたり、入院されたりする施設であり皆様のご健康を守ることを使命としております。当院は、受動喫煙の防止だけではなく、喫煙による健康被害もあることから、病院建物の他に駐車場を含めた病院敷地内全面禁煙を致しております。

病院周辺においてもマナーをお守り頂き、病院敷地内全面禁煙にご理解とご協力をお願いいたします。

看護部紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師



皮膚・排泄ケアには、創傷ケア（褥瘡など）、
ストーマケア（人工肛門・人工膀胱）失禁ケア
があります。



皮膚・排泄ケア認定看護師として活動しています。



※創傷ケア

医師・薬剤師・栄養士・理学療法士などからなる多職種により構成された褥瘡対策チームや病棟スタッフとともに、褥瘡を発生させないため予防的ケアを、また褥瘡のある方には治療へ向かう環境を整えるケアを提供できるよう取り組んでいます。

※ストーマケア

入院中は病棟への訪問、退院後はストーマ外来でストーマを造られた方が退院後の日常生活を過ごされる中で生じる問題や悩みに対して一緒に考え、ストーマケアを行っています。

※失禁ケア

尿や便失禁により生じた皮膚障害に対してのスキンケア等を行います。スキンケアや排泄ケアは日常的に行われるケアであり看護の基本です。患者様の入院生活が少しでも快適となる援助ができるよう活動しています。



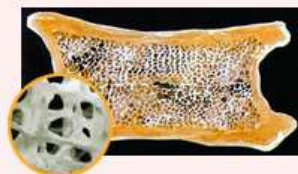
※お知らせ

ストーマ外来日 第2・4週火曜日 13:00 から予約制で行っています。

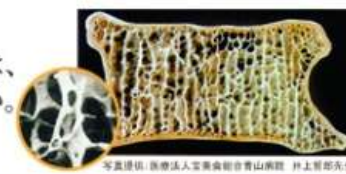
～骨粗鬆症って？～

骨がもろくなり骨折しやすくなる骨粗しょう症は男女ともに高齢になれば骨折しやすくなる病気で患者さんは日本では 1,000～1,200 万人といわれ、その 70～80%が女性です。

健康な人の骨は、密度が高くて丈夫。



骨粗鬆症の人の骨は、スカスカしてもろい。

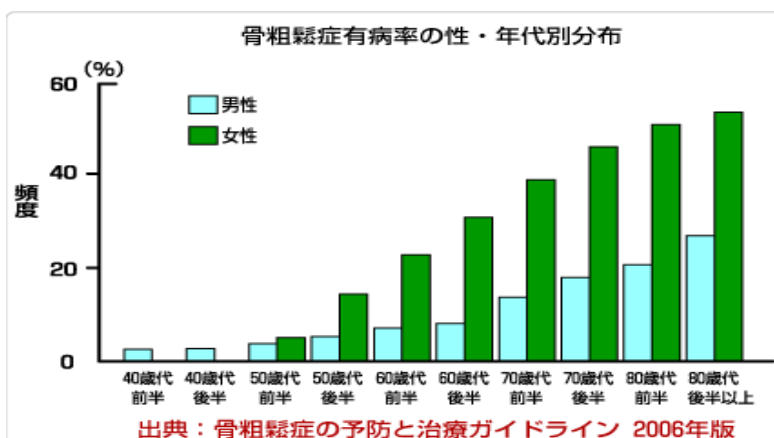
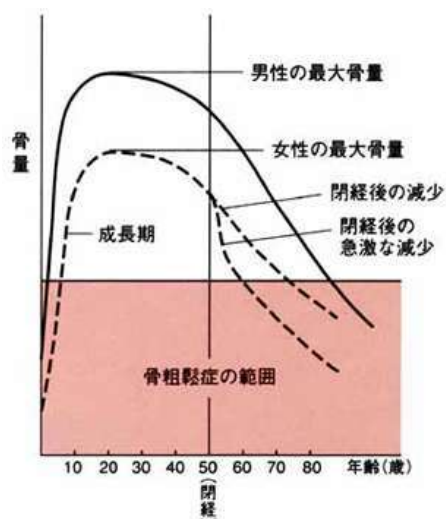


骨粗しょう症はちょっとした動作や転倒で骨折をおこし、内臓の病気を引き起こし、死亡率を確実に押し上げます。また加齢を促進させます。

しかし治療により、骨折予防が可能であり、その結果 ADL（日常生活動作）や、QOL（生活の質）の低下を防ぐことが可能です。

中でも大腿骨頸部骨折は 2007 年に 14 万件を超え、2012 年には 18 万件になると推定され、約 10%は 1 年以内に死亡し、約 30%は日常生活動作の能力が低下すると言われています。

また、骨折による二次的な骨格変形は、寝たきり状態や慢性腰痛の原因となるばかりでなく、手術後の 25%の方は QOL が低下し、生活動作を傷害し、介護の必要性を増加させる原因となっています。



出典：骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2006年版

このような骨粗しょう症は高齢社会となった現在、多くの方々の注目を集めている疾患です。

注目されている理由は、

1. 骨粗しょう症の患者さんが増えたこと、
 2. 骨粗しょう症の病態（原因など）が明らかになったこと、
 3. 骨粗しょう症の予防法と治療法が明らかになったこと、
- が挙げられます。

当院では信頼度の高いデクサ方式を使用し、測定部位も診断の基準となる部位である腰椎、大腿骨の骨密度が測定できます。測定は痛みもなく、簡単に、寝ているだけで測定できます。

現在では優れた骨粗しょう症治療薬が出ており、治療薬の選択の幅が拡がり骨粗鬆症治療の役割は大きくなっています。

《下記の症状があるひとは気を付けましょう》

- ・牛乳、乳製品をあまりとらない
- ・体を動かすことが少ない
- ・小魚、豆腐をあまりとらない
- ・最近、背が縮んだような気がする
- ・たばこをよく吸う
- ・最近、背中が丸くなり、腰が曲がってきた気がする
- ・お酒をよく飲む方だ
- ・ちょっとしたことで骨折した
- ・天気のいい日でも、あまり外に出ない
- ・体格はどちらかと言えば細身だ
- ・家族に「骨粗鬆症」と診断された人がいる
- ・糖尿病や、消化管の手術を受けたことがある
- ・（女性）閉経を迎えた。（男性）70歳以上である

当院の骨密度測定装置は、平成24年2月に導入された最新の装置です。



放射線相談の実施について

当院では、東京電力福島第1原子力発電所の事故により放射線の健康に対する影響に不安を感じている方の相談に応じるため、福島県及び福島県病院協会からご支援をいただき、放射線相談を実施したいと考えております。

つきましては、事前に相談を希望される方の人数と相談内容を把握させていただいた上で、相談の日程を調整させていただきたいと思っております。

相談を希望される方は、「放射線相談申込書」に必要事項をご記入の上、次のいずれかの方法によりお申し込みください。日程が決定次第、相談を希望された方に直接ご連絡いたします。



1 メールによるお申し込み

当院ホームページから「放射線相談申込書」をダウンロードしていただき、必要事項を入力の上、申込書をメールに添付して f-rosai@muse.ocn.ne.jp にお送りください。

2 病院の窓口にご持参いただくことによるお申し込み

当院ホームページから「放射線相談申込書」をダウンロードして必要事項をご入力して印刷したもの、あるいは本誌8ページをコピー、または、病院窓口にご用意している「放射線相談申込書」に必要事項を記入したものを病院の窓口にご持参ください。



患者サロンのご紹介

当院では、学習の場、情報交換の場として患者サロンを開設しています。患者サロンとは同じ体験をされた方同士で日常生活や心の不安などについて話をしながら、情報交換をしていただく場です。毎回ミニ講演を行い学ぶ機会としてもご利用いただいております。

今年度は、以下の日程で開催致しますのでお気軽にお越し下さい。

日時	ミニ講演演題（仮題）	講師
9月25日（火） 14：00～	化学療法の副作用対策	金澤 かつみ （化学療法認定看護師）
11月27日（火） 14：00～	放射線治療について	佐々木 亮浩 （診療放射線技師）
1月29日（火） 14：00～	家族ががんになったとき	遠藤 奏恵 （臨床心理士）
3月26日（火） 14：00～	知っておきたい医療制度	鈴木 幸一 （認定医療社会福祉士）

また、乳がんに関する学習会、情報交換の場として**乳がん患者サロン**も開設しています。

乳がんの疑いのある方、乳がんで治療を開始される方、また治療中の方・・・

同じ思いを体験した人と一緒にお話しするだけでも、安心できることがたくさんあります。

毎回、乳腺外科担当医師である又吉先生をはじめ、看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどのスタッフも参加いたします。

今年度の開催予定は、

8月29日（水）、10月31日（水）、12月19日（水）、2月27日（水）、いずれも13：30～14：30に行っています。

日頃聞けないこと、聞きにくいことも気軽に相談できる場でもありますので、是非お越し下さい。

（お問い合わせ先：相談支援センター 電話 45-2251（直通）、26-1111（代表））





無料健康相談のお知らせ



健康にちょっと気になることがある…でも、平日に仕事を休んで病院に行くほどでもないし…。そんなこと、ありませんか？

そんな平日に働いている勤労者の皆さんのために、当院では無料健康相談を実施しています。

専門医による簡単な健康相談です。看護師による体脂肪測定や血圧測定も行っておりますので、お気軽にご利用ください。



※場所・・・新館エレベーター前

実 施 日 時	
平成24年 8月25日(土)	14時 ~ 16時
平成24年 9月15日(土)	14時 ~ 16時
平成24年 10月20日(土)	14時 ~ 16時
平成24年 11月17日(土)	14時 ~ 16時
平成24年 12月15日(土)	14時 ~ 16時
平成25年 1月19日(土)	14時 ~ 16時
平成25年 2月16日(土)	14時 ~ 16時
平成25年 3月16日(土)	14時 ~ 16時

緩和ケア病棟有料室の室料変更のお知らせ

緩和ケア病棟の下記病室について、平成24年7月1日より下記の通り室料の改定を行いますのでお知らせします。

なお、ご不明な点がございましたら医事課入院係までお問い合わせ下さい。



緩和ケア病棟（2病棟）

209号室	現行10,500円	→	改定後9,975円
211号室	現行10,500円	→	改定後9,975円
207号室	現行 1,400円	→	改定後0円

（3人部屋）



